

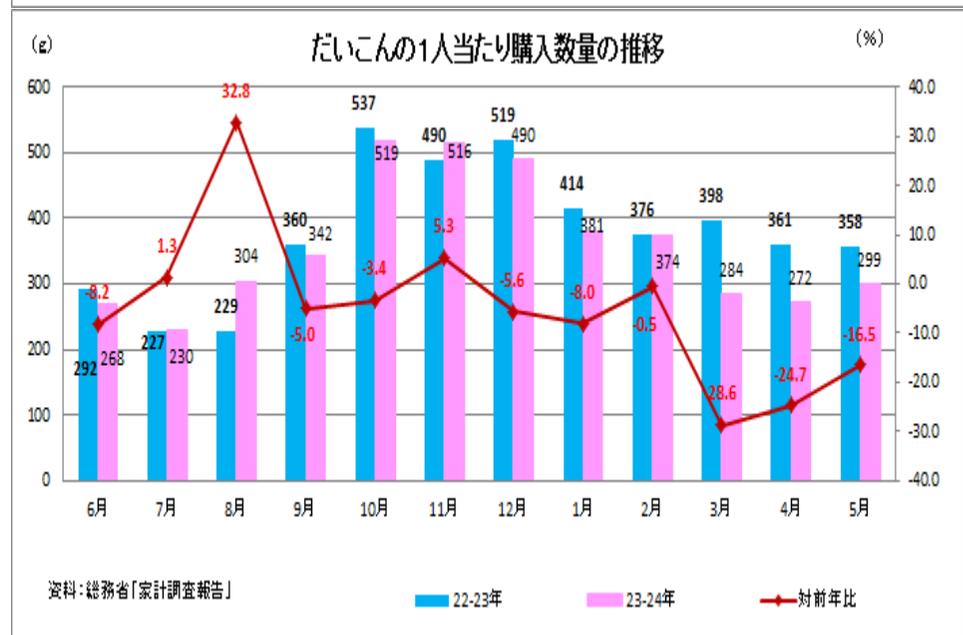
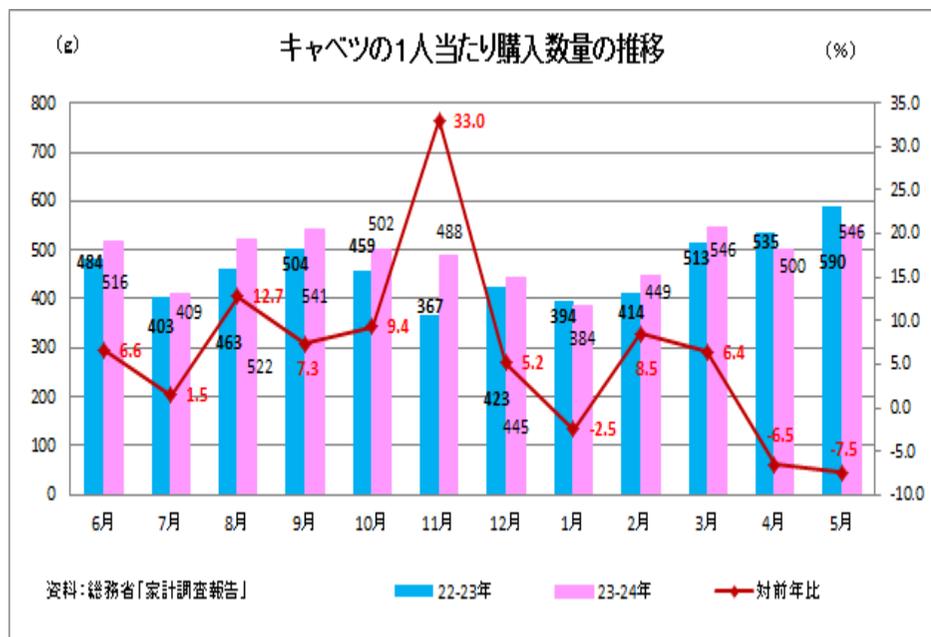
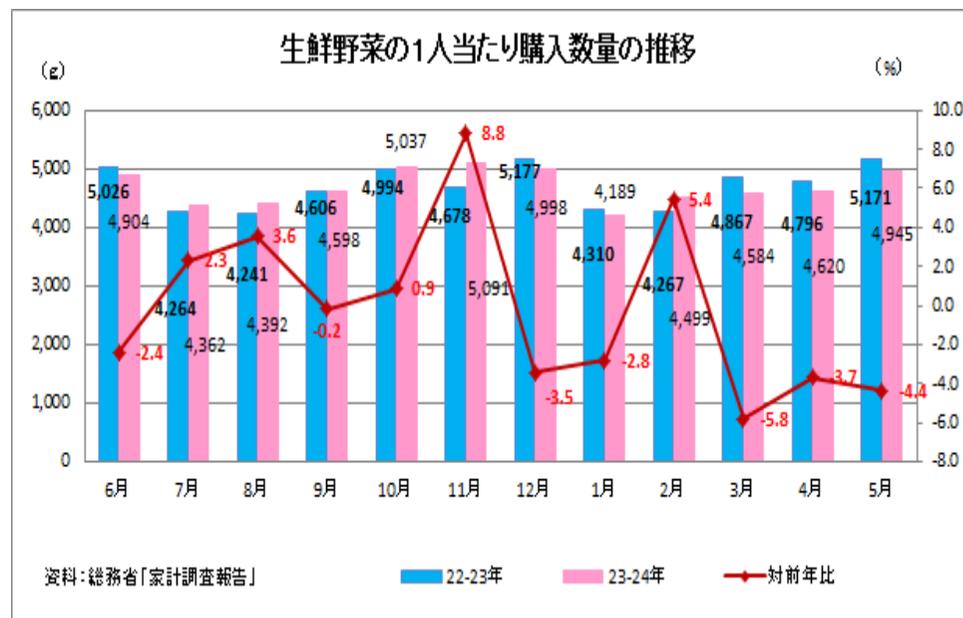
野菜の消費関連資料

1 1人当たり購入数量の推移

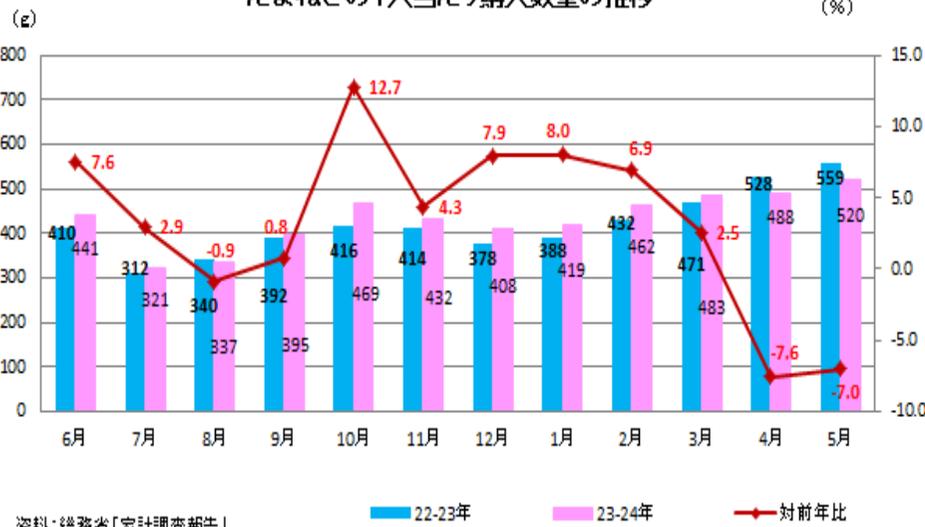
・生鮮野菜全体の購入数量は、低温・曇天の影響により総体的に高値となったことから、平成23年12月以降、2月を除いて前年を下回って推移。

・2月については、前年が低温・少雨の影響で高かったことから、購入数量が前年を上回った。

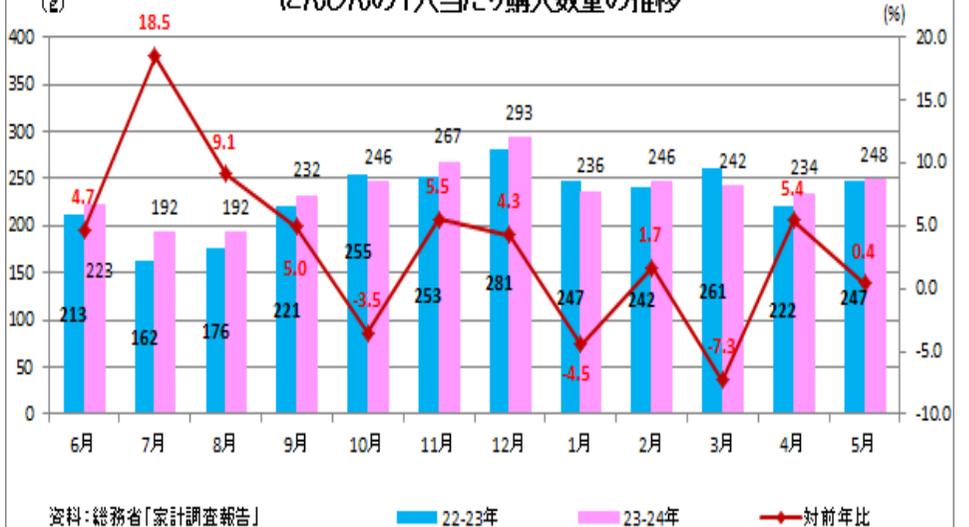
・品目別には、だいこんやはくさいの購入数量は夏場に少なくなる傾向にある。



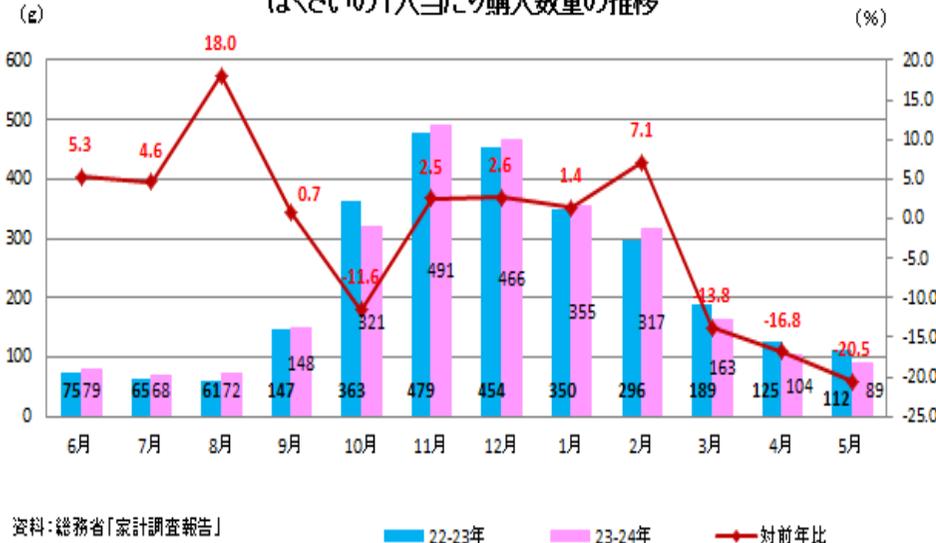
たまねぎの1人当たり購入数量の推移



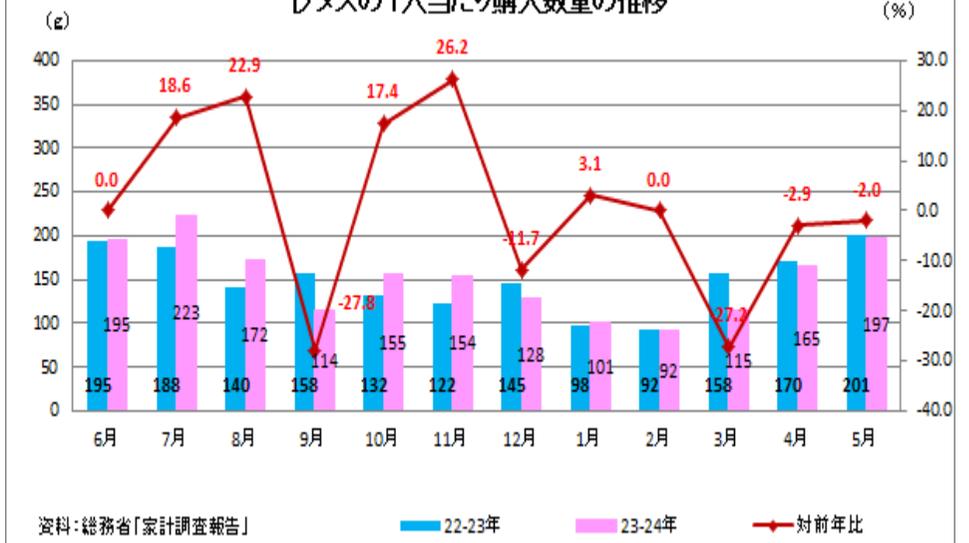
にんじんの1人当たり購入数量の推移



はくさいの1人当たり購入数量の推移



レタスの1人当たり購入数量の推移



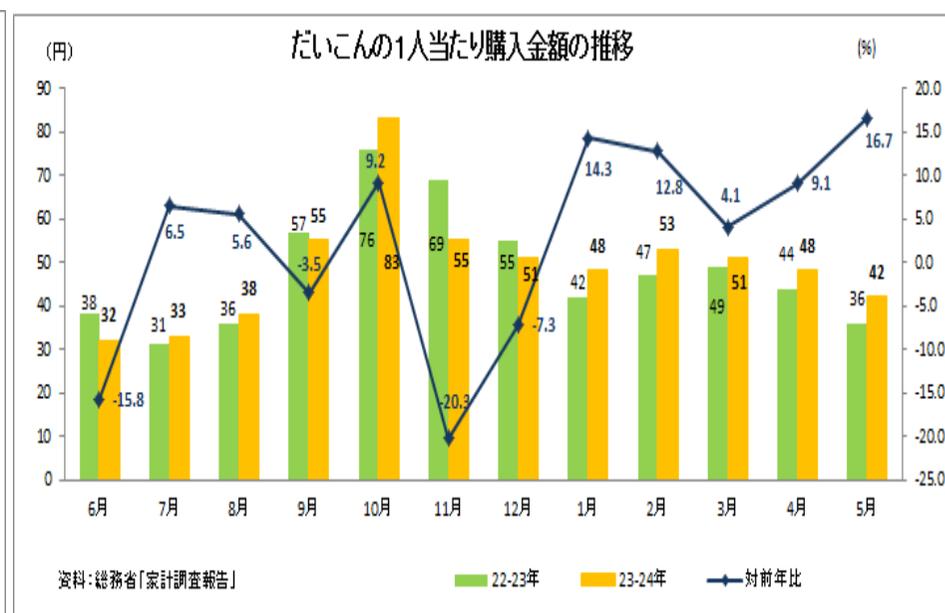
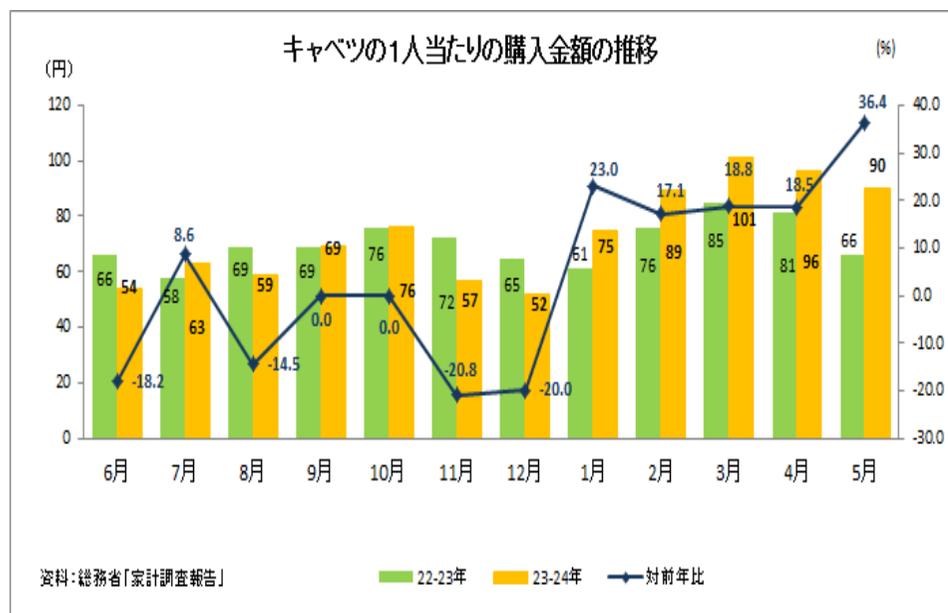
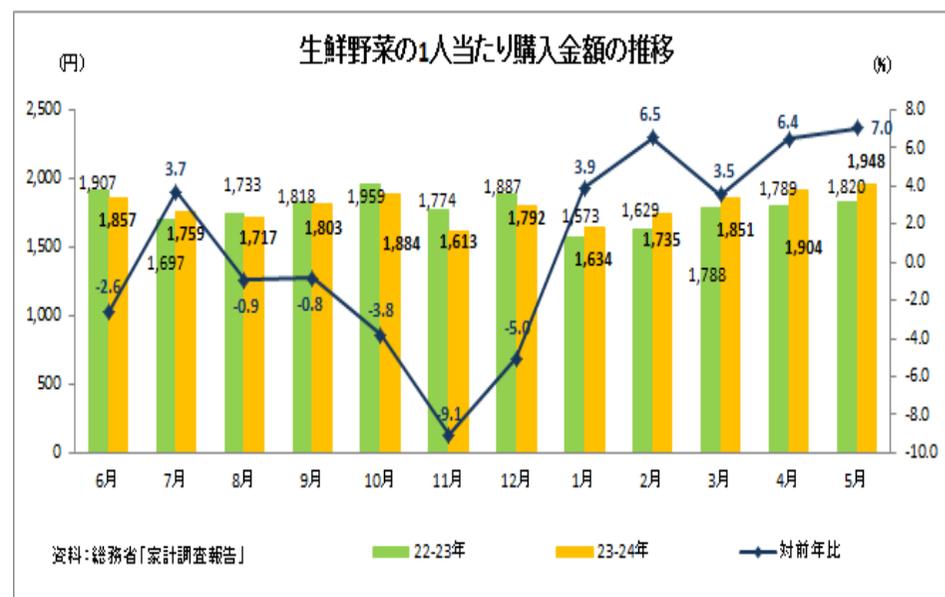
2 1人あたり購入金額の推移

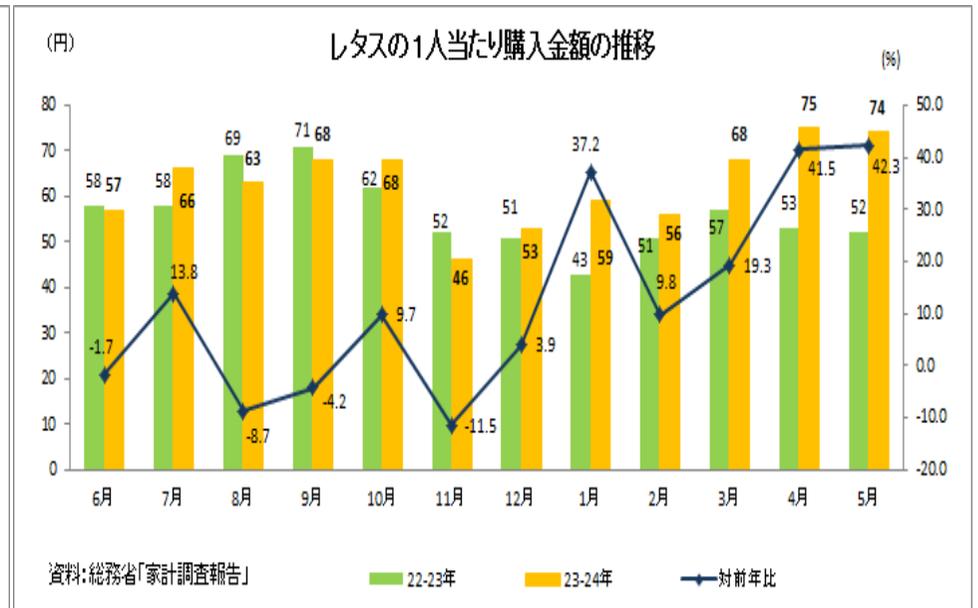
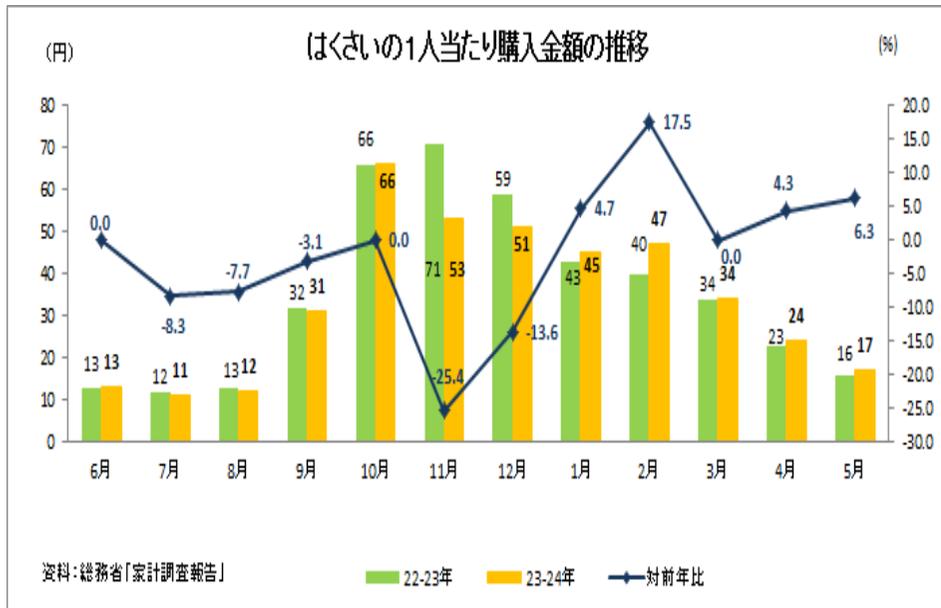
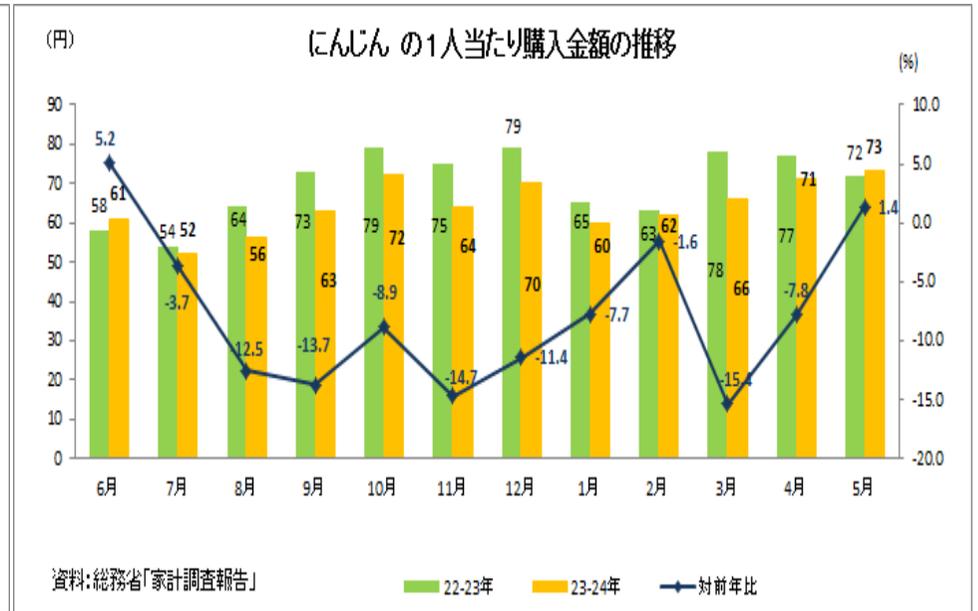
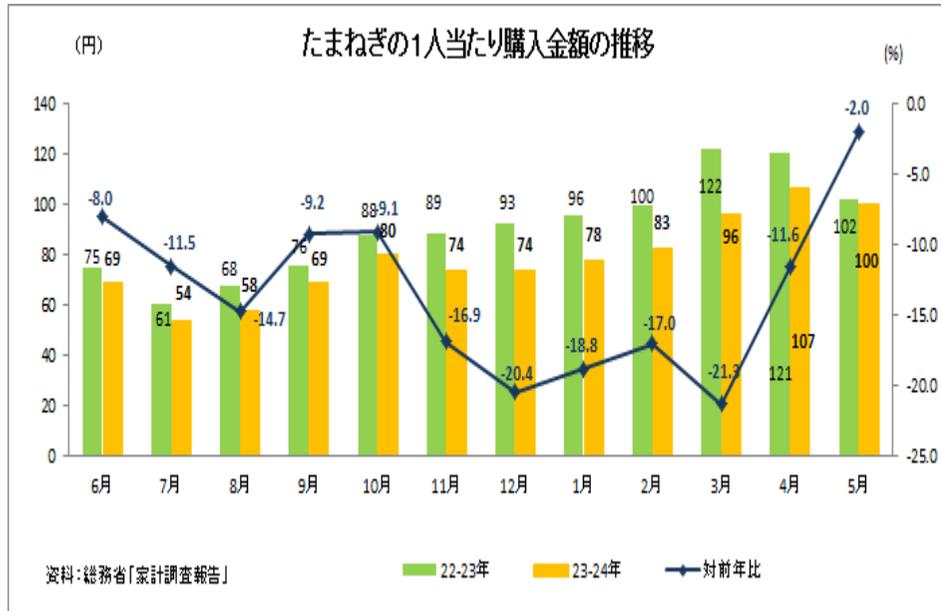
・生鮮野菜全体の購入金額は、前年が平年でない猛暑の影響により高値であったこともあり、8～12月は前年を下回って推移。

・特に11月は、順調な生育により安定した入荷がある中で、気温が高く、鍋ものの需要も鈍かったことから、前年を大きく下回った。

・一方、今年に入ってからは、前年をかなり上回った。

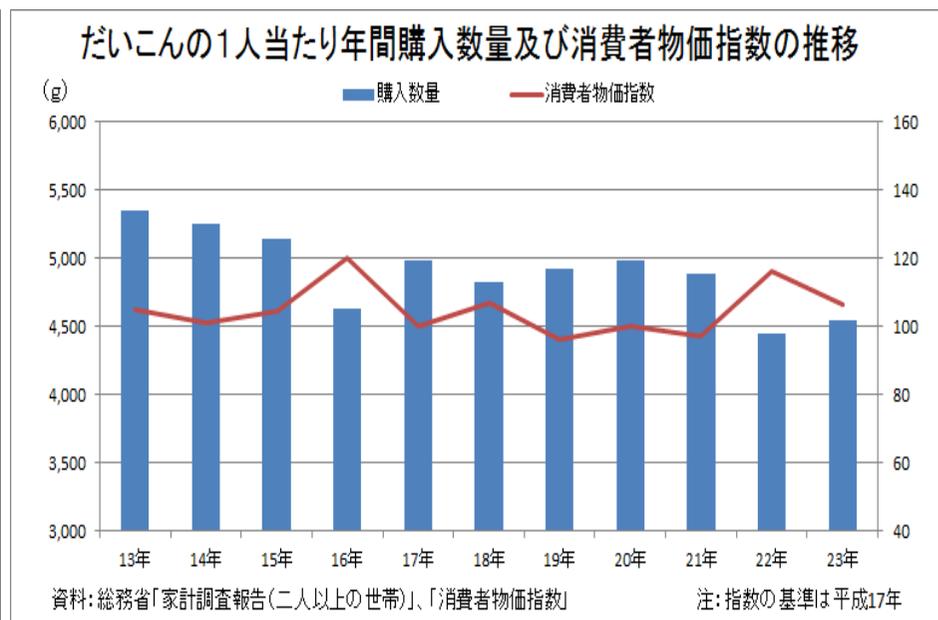
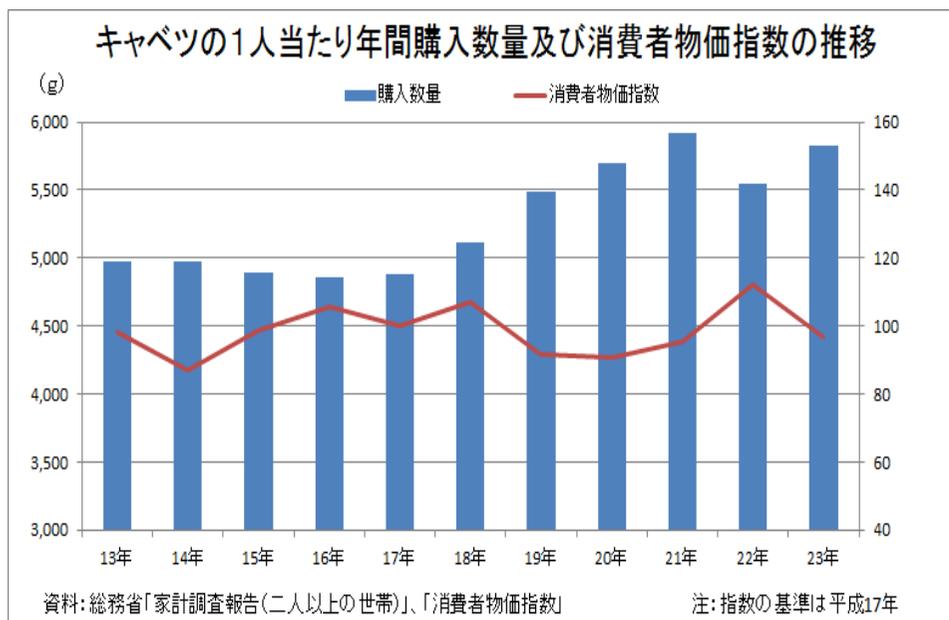
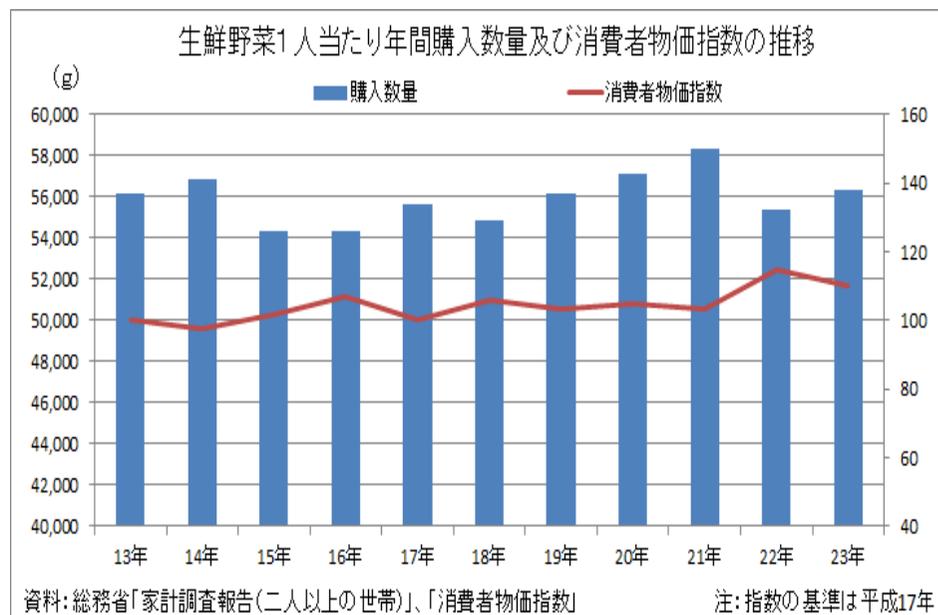
・品目別には、購入数量と同様、だいこんやはくさいの購入金額が夏場に減少する傾向にある。

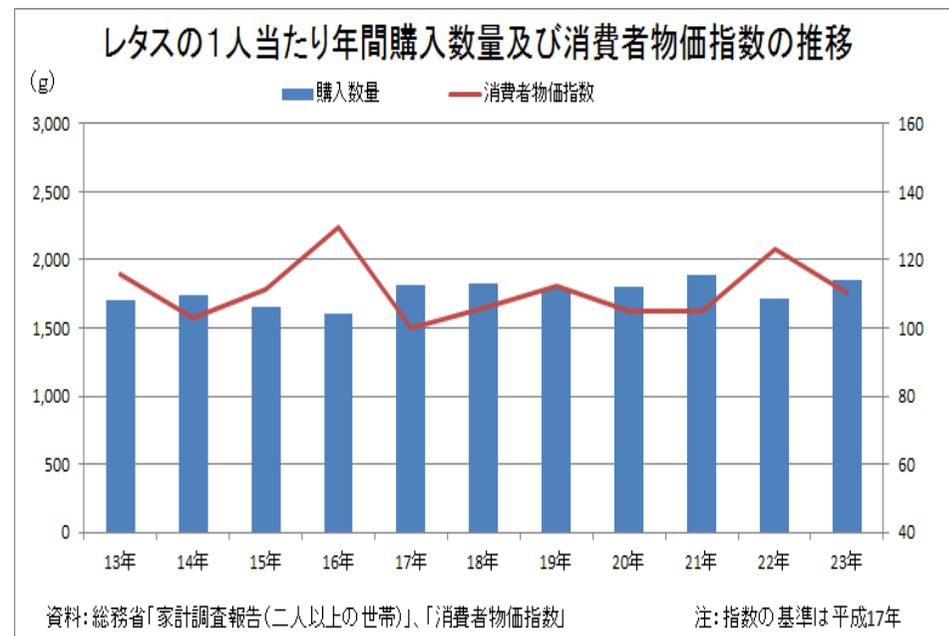
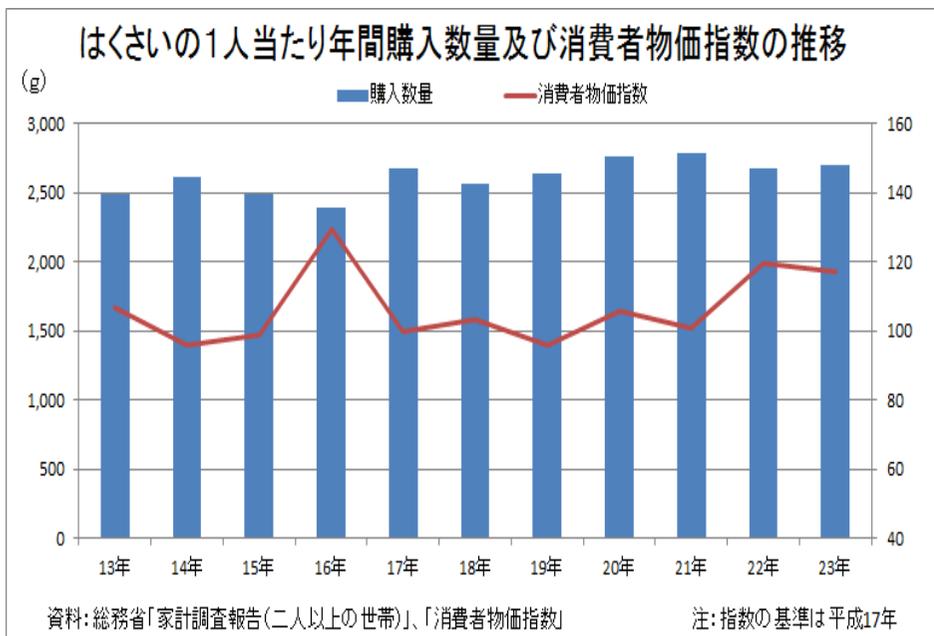
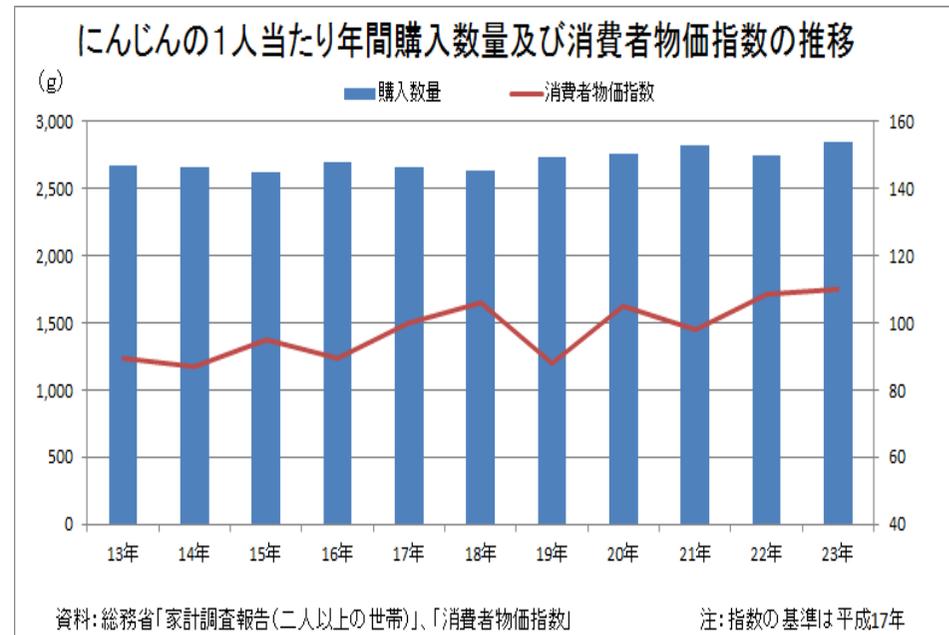
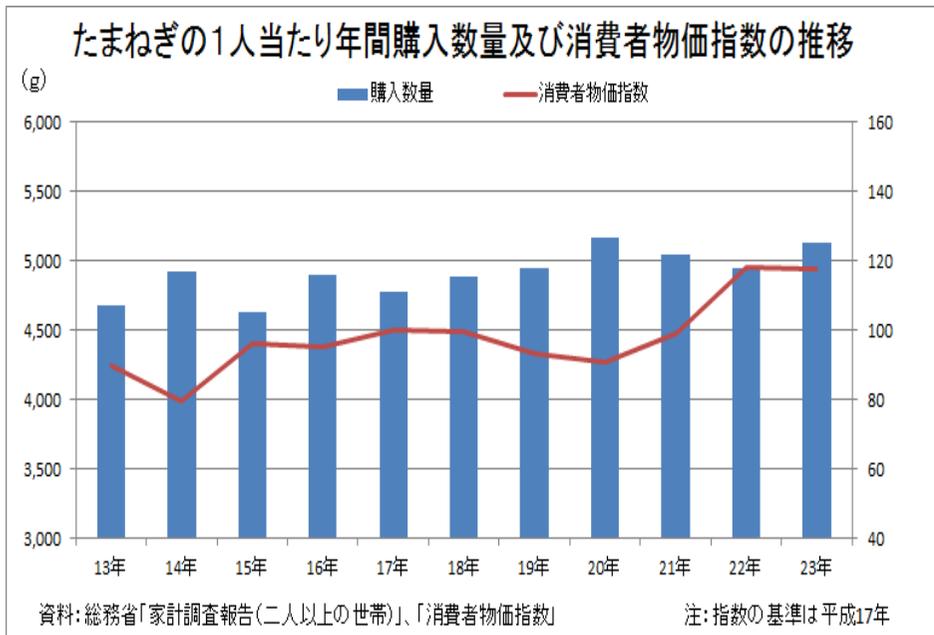




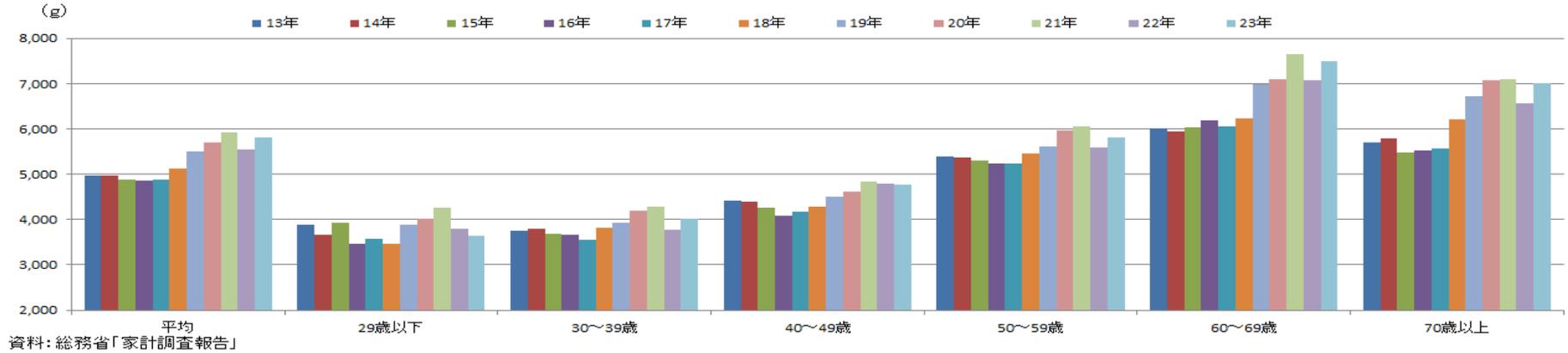
3 1人当たり年間購入数量等の推移

- ・生鮮野菜の1人当たり年間購入数量は、年によって変動が見られるが、消費者物価指数が高くなると、野菜の購入数量が前年より少なくなる傾向がみられる。
- ・品目別に見ると、キャベツは増加傾向となっており、特に60歳以上の年齢階級で増加している。
- ・だいこんは減少傾向で推移しており、特に50歳以上の年齢階級で減少幅が大きい。また、49歳以下の年齢階級の購入数量が極端に少ない。

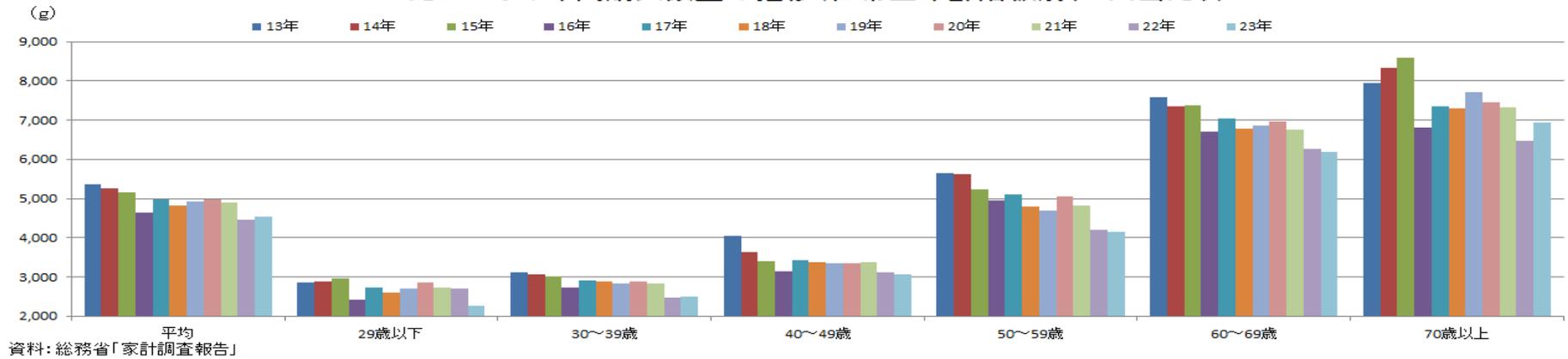




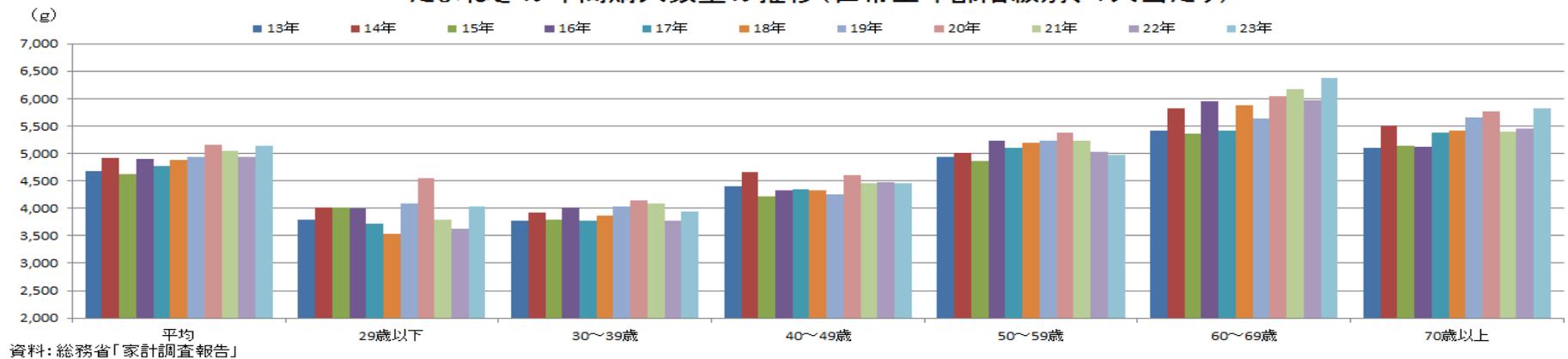
キャベツの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



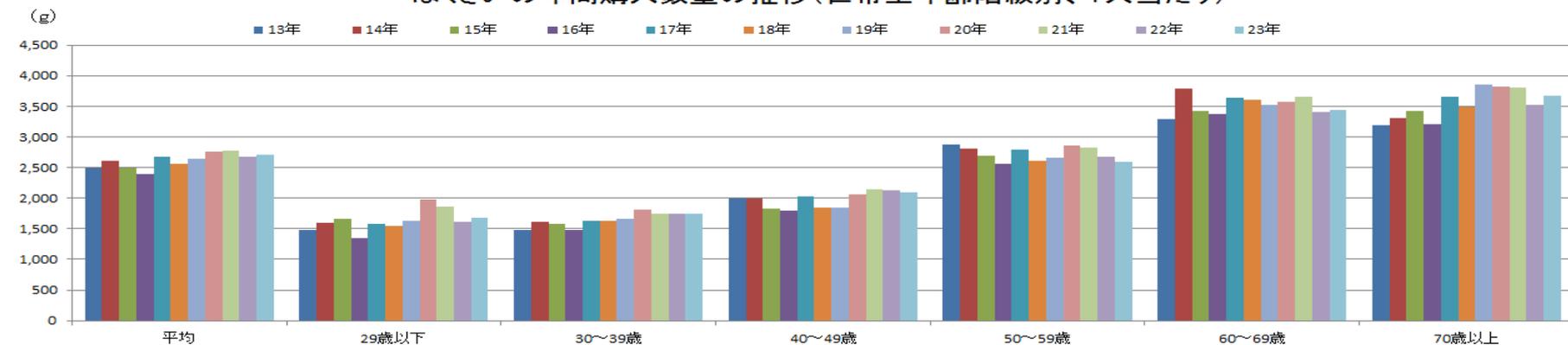
だいこんの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



たまねぎの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)

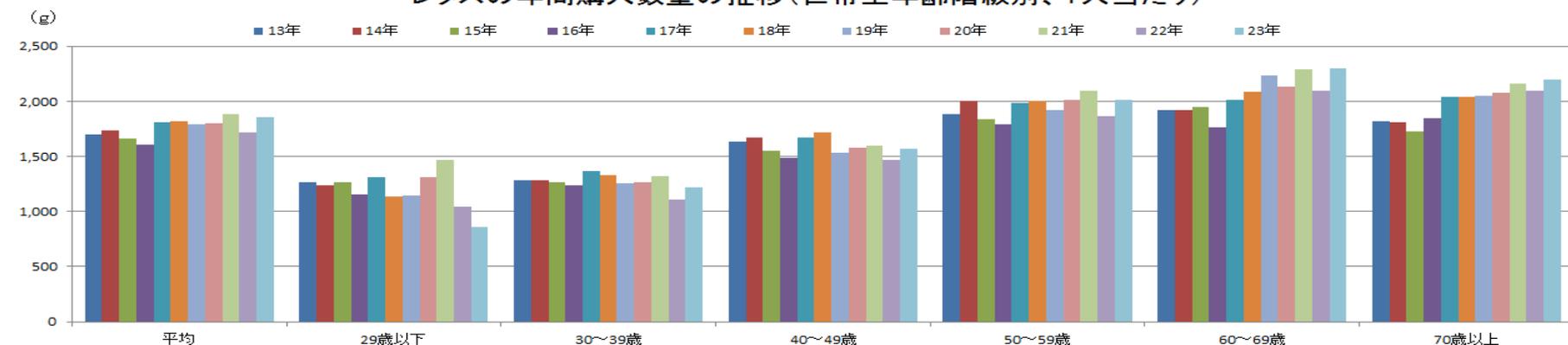


はくさいの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



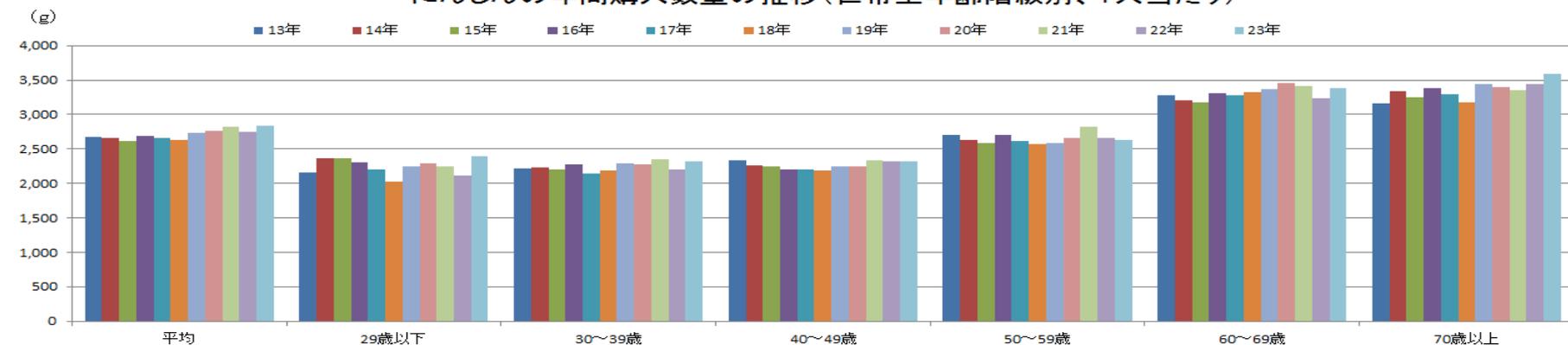
資料:総務省「家計調査報告」

レタスの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



資料:総務省「家計調査報告」

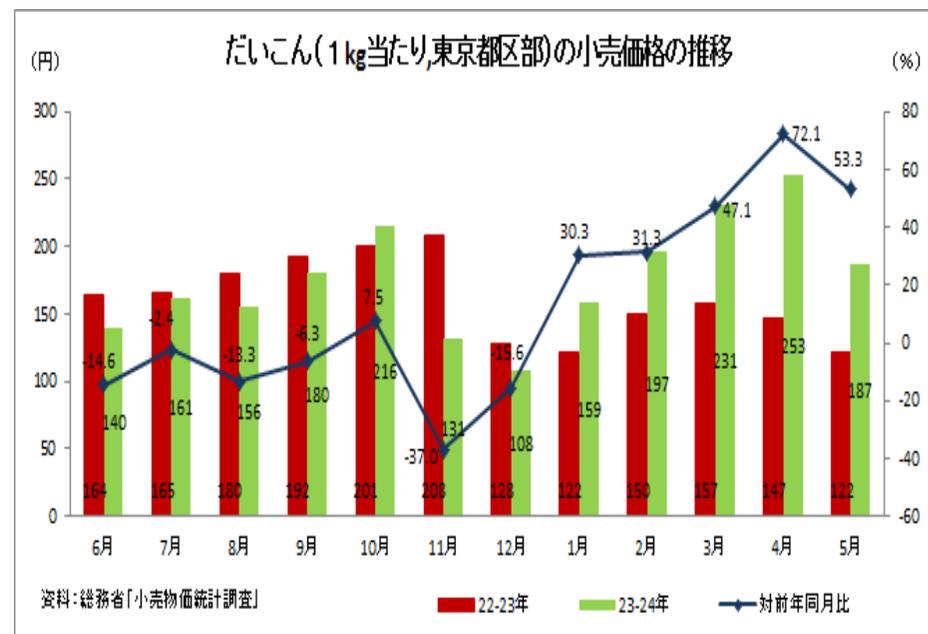
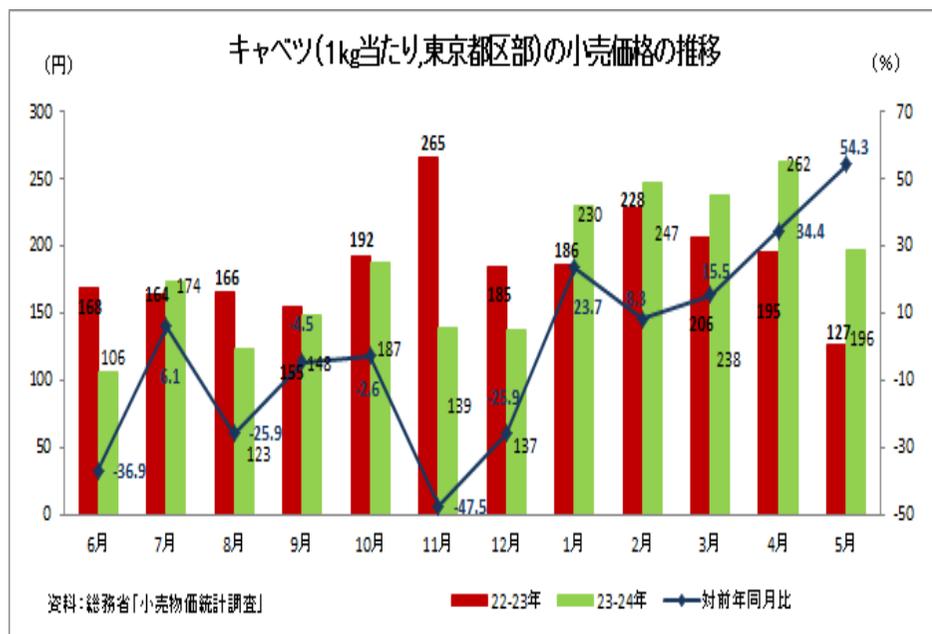
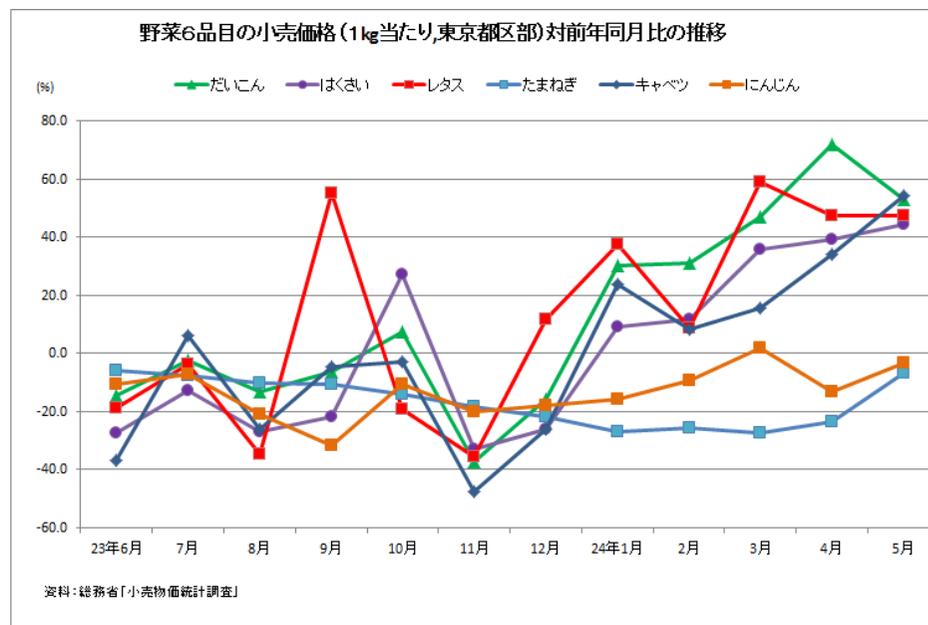
にんじんの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)

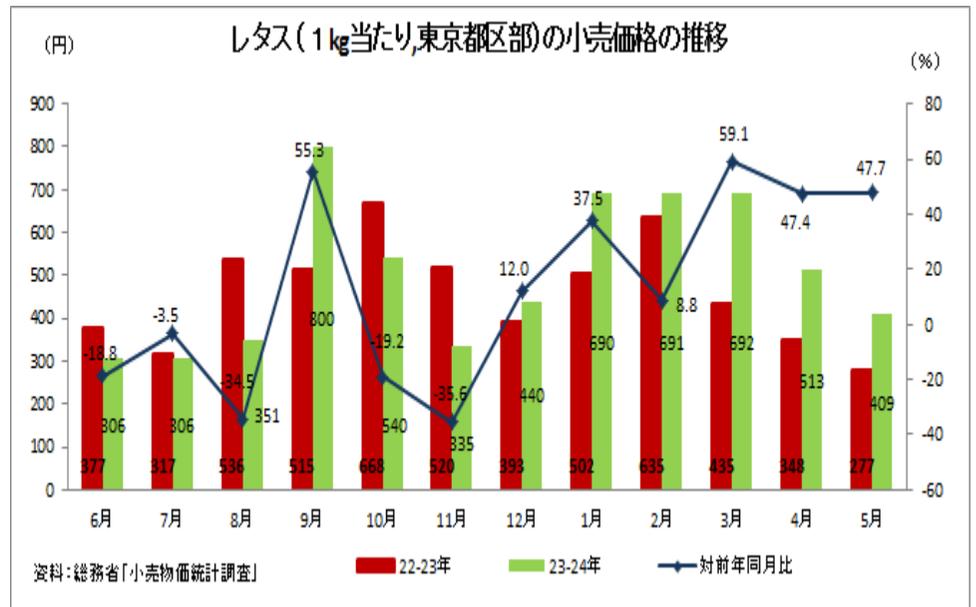
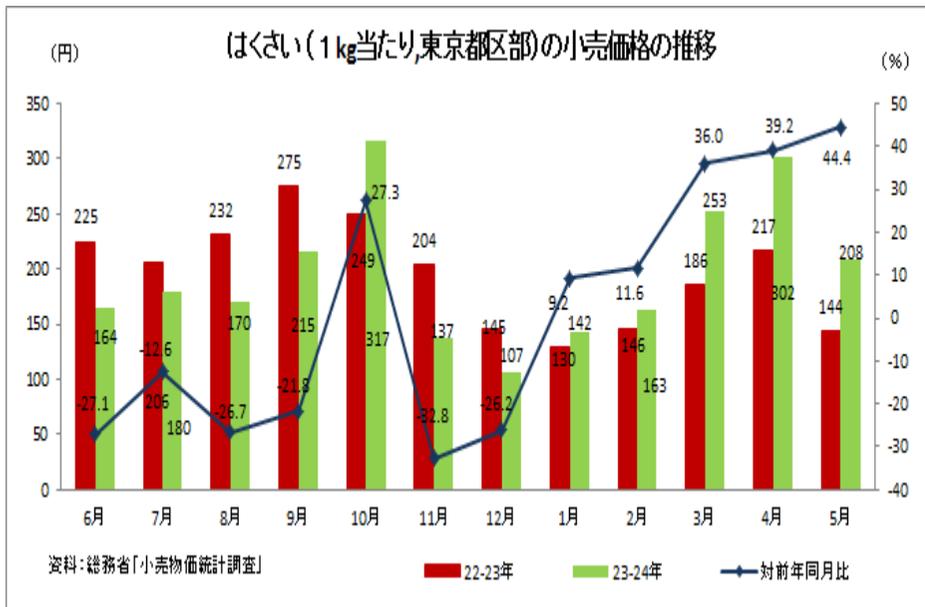
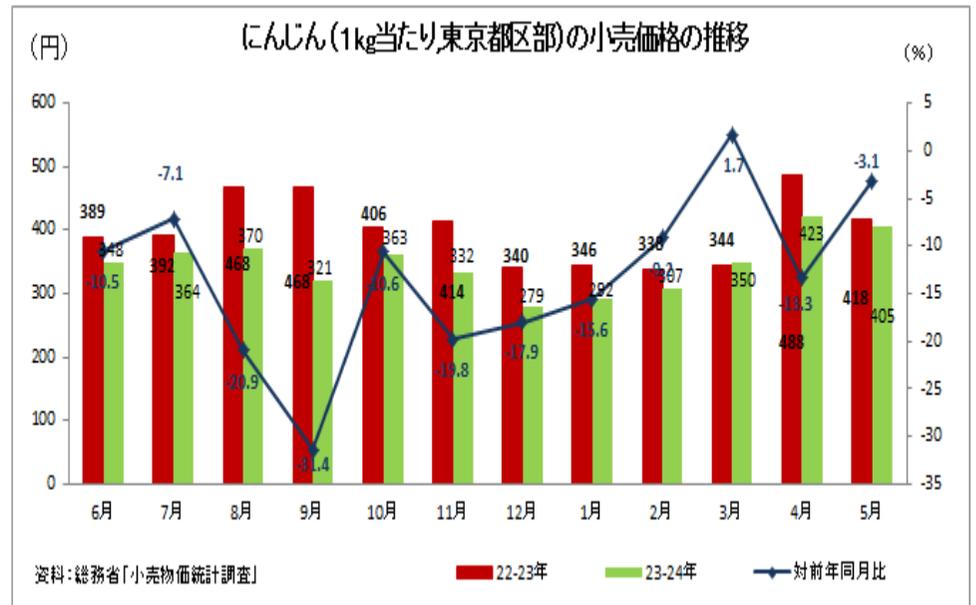
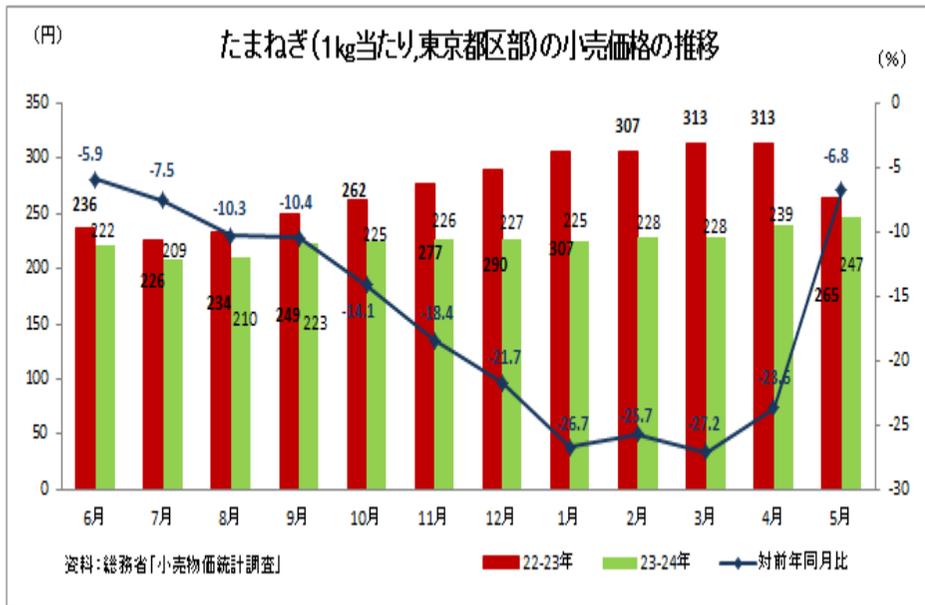


資料:総務省「家計調査報告」

4 小売価格の推移

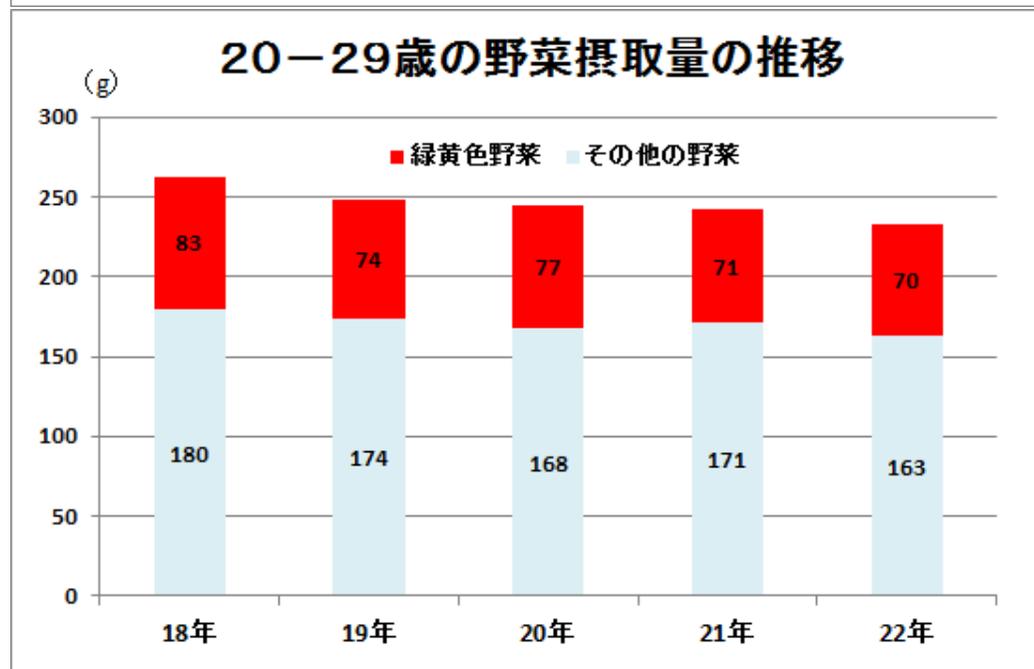
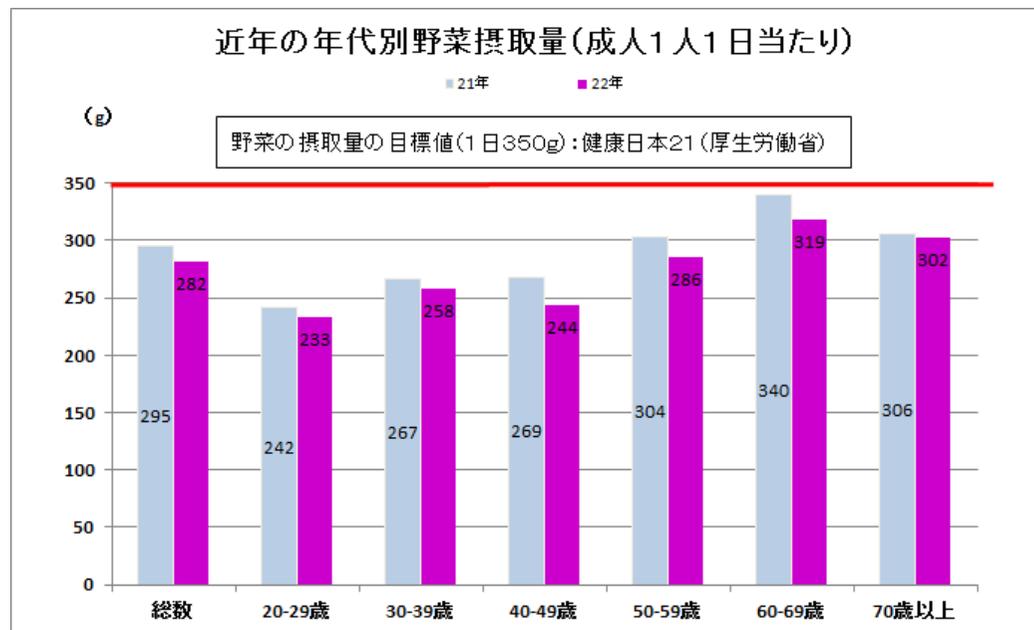
- ・野菜6品目の小売価格は、6～12月にかけては、一部の品目を除き、猛暑の影響により高値だった前年を下回った。
- ・はくさいは、降雨の影響により、10月に価格が高騰し、レタスは、降雨及び台風の影響で、9月に価格が高騰した。
- ・キャベツ、だいこん、はくさい及びレタスは、1月以降、低温、少雨等の影響による生育停滞により出荷量が伸びず、前年をかなり大きく上回った。
- ・たまねぎは、6月以降、佐賀産と兵庫産の豊作を受け、前年を下回って推移。9月以降も、北海道産の出荷が不作であった前年を上回ったことから、価格は前年を下回って推移した。
- ・にんじんは、6月以降、主産地の出荷が順調であったことから、前年を下回って推移した。





5 野菜の年齢階級別摂取量

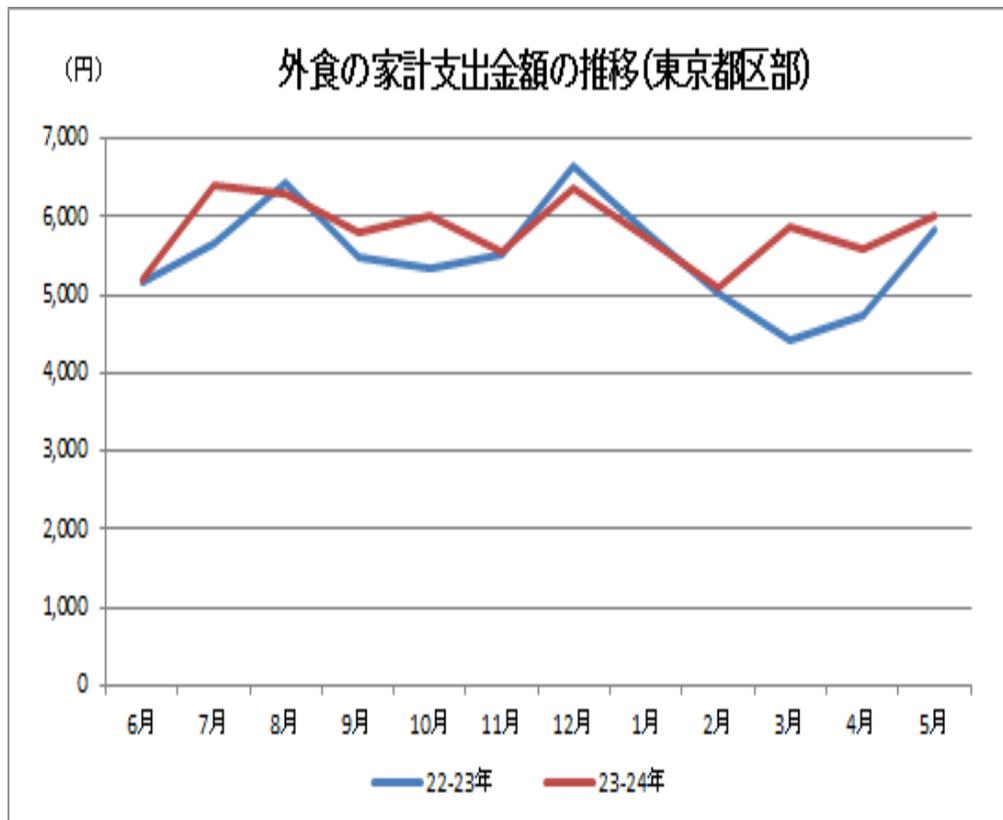
- ・平成22年の成人1人1日当たりの野菜摂取量は、全世代において前年を下回った。依然として、20代、30代及び40代の摂取量が少ない水準となっており、特に40代の摂取量の減少が著しい。
- ・摂取量が一番少ない20代の野菜摂取量は、年々減少傾向となっている。



資料:厚生労働省「国民健康・栄養調査結果」

6 業務用需要の推移

(1) 外食の家計支出の推移



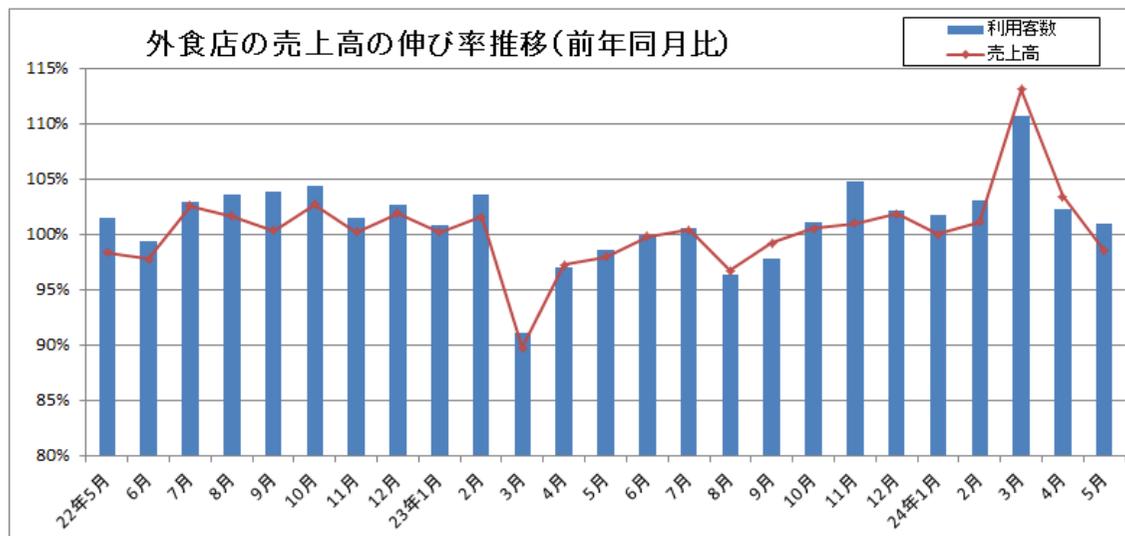
資料：総務省「家計調査(二人以上の世帯、東京都区部・全国)」

家計調査(東京都区部)

品目分類	23.5支出金額	24.5支出金額	対前年同月比
世帯人員	2.99	2.97	-
消費支出	304,510	351,249	115%
食料	78,620	80,697	103%
外食	17,420	17,845	102%
消費支出に占める割合(%)	5.7	5.1	89%
食料に占める割合	22.2	22.1	100%

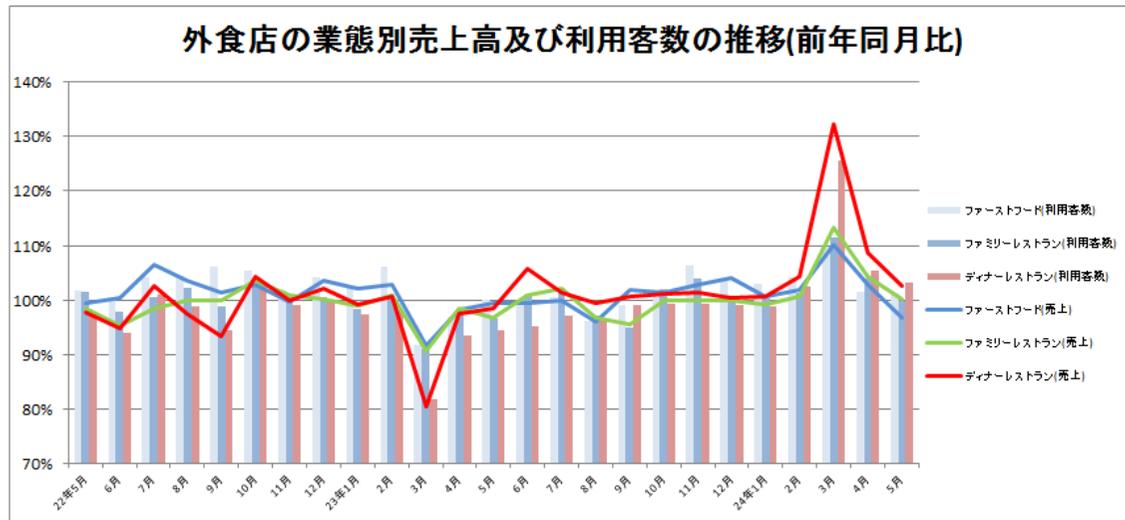
・震災等の影響により減退していた1人当たりの外食に対する家計支出金額は、回復基調を維持しており、5月における対前年同月比は、102%となっている。

(2) 外食店の売上高及び利用客数の推移



・外食店の売上高及び利用客数は、10月以降7か月連続で前年を上回った。5月の売上高は前年を下回り98.5%となる一方で、利用客数は前年をわずかに上回った。

・業態別に見ると、ファーストフードは、売上高、利用客数ともに10月以降前年を上回って推移していたが、5月の売上高は前年をやや下回った。ファミリーレストランは、売上高、利用客数ともに前年を上回って推移していたが、5月はそれぞれ前年並みとなった。ディナーレストランは、2月以降、売上高、利用客数ともに前年を上回って推移している。



資料：社団法人日本フードサービス協会「全店時系列データ」

7 今後の天気

1. 向こう1ヶ月(6月30日～7月29日)

- ・気温は、2週目は北日本では気温が平年並みか低くなり、東・西日本では平年並みで、3～4週目は、全国的に平年並みの見込み。
- ・降水量は、北・東日本では平年並みで、西日本では多くなる見込み。

2. 7月～9月

○ 7月

- ・気温は、北日本では平年並みで、東日本では高くなり、西日本では平年並みか高くなる見込み。
- ・降水量は、全国的に少ない見込み。

○ 8月

- ・気温は、北日本では平年並みで、東日本では高くなり、西日本では平年並みか高くなる見込み。
- ・降水量は、北・東日本では平年並みで、西日本では多くなる見込み。

○ 9月

- ・気温は、北日本では平年並みで、東・西日本では高くなる見込み。
- ・降水量は、北日本では平年並みで、東・西日本では多くなる見込み。

3. エルニーニョ/ラニーニャ現象

- ・エルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生していない平常の状態が続いている。
- ・夏と秋の期間中にエルニーニョ現象が発生する可能性もあるが、平常の状態が続く可能性の方がより高い。
(エルニーニョ現象発生時の日本の夏(6～8月)の平均気温は、北・東・西日本で低い傾向があり、エルニーニョ現象発生時の秋(9～11月)の平均気温は、北日本と東日本で高い傾向がある。)

出典:「全般1ヶ月予報解説資料(平成24年6月29日気象庁地球環境・海洋部)

「全般3ヶ月予報(7月～9月)解説資料」(平成24年6月25日気象庁地球環境・海洋部)

「エルニーニョ監視速報(No.237)」(平成24年6月11日気象庁地球環境・海洋部)

(参考)

◎1ヶ月(6月30日～7月29日)予報に見る確率

	気温(%)				降水量(%)			日照時間(%)		
	低	並	高		少	並	多	少	並	多
北日本	30	40	30	日本海側	30	40	30	30	40	30
				太平洋側	30	40	30	30	40	30
東日本	30	40	30	日本海側	30	40	30	30	40	30
				太平洋側	30	40	30	30	40	30
西日本	30	40	30	日本海側	30	30	40	30	40	30
				太平洋側	30	30	40	30	40	30
沖縄・奄美	30	40	30		40	40	20	30	30	40

気温	1週目(%)			2週目(%)			3～4週目(%)		
	低	並	高	低	並	高	低	並	高
北日本	20	40	40	40	40	20	30	40	30
東日本	20	50	30	30	40	30	30	40	30
西日本	30	50	20	30	40	30	30	40	30
沖縄・奄美	20	50	30	30	40	30	30	40	30

◎3ヶ月(7～9月)予報に見る確率

気温	3か月			7月			8月			9月		
	低	並	高	低	並	高	低	並	高	低	並	高
北日本	30	40	30	30	40	30	30	40	30	30	40	30
東日本	30	30	40	30	30	40	30	30	40	30	30	40
西日本	20	40	40	20	40	40	20	40	40	30	30	40
沖縄・奄美	20	40	40	20	40	40	20	40	40	30	30	40

降水量		3か月			7月			8月			9月		
		少	並	多	少	並	多	少	並	多	少	並	多
北日本	日本海側	30	40	30	40	30	30	30	40	30	30	40	30
	太平洋側	30	40	30	40	30	30	30	30	40	30	40	30
東日本	日本海側	30	40	30	40	30	30	30	30	40	30	30	40
	太平洋側	30	40	30	40	30	30	30	30	40	30	30	40
西日本	日本海側	40	30	30	40	30	30	30	40	30	30	30	40
	太平洋側	40	30	30	40	30	30	30	40	30	30	30	40
沖縄・奄美		40	30	30	40	30	30	30	40	30	30	30	40

注:「低 並 高」、「少 並 多」は、それぞれ平年との比較

出典:「全般1ヶ月予報解説資料(平成24年6月29日気象庁地球環境・海洋部)

「全般3ヶ月予報(7月～9月)解説資料」(平成24年6月25日気象庁地球環境・海洋部)